

平成22年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年10月13日

上場会社名	ミクロン精密株式会社	上場取引所	大
コード番号	6159	URL	http://www.micron-grinder.co.jp/
代表者	（役職名）代表取締役社長 （氏名）榊原 憲二	（TEL）	023（688）8111
問合せ先責任者	（役職名）管理部次長 （氏名）遠藤 正明	配当支払開始予定日	—
四半期報告書提出予定日	平成22年10月14日		
四半期決算補足説明資料作成の有無	： 無		
四半期決算説明会開催の有無	： 無		

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年11月期第3四半期の連結業績（平成21年12月1日～平成22年8月31日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	1,141	△49.4	△236	—	△189	—	△192	—
21年11月期第3四半期	2,254	—	142	—	217	—	93	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年11月期第3四半期	△83	78	—	—
21年11月期第3四半期	39	26	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年11月期第3四半期	6,479	5,102	5,102	5,102	78.8	2,231	53	
21年11月期	7,532	5,407	5,407	5,407	71.8	2,334	80	

（参考）自己資本 22年11月期第3四半期 5,102百万円 21年11月期 5,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年11月期	—	—	0	00	—	—	20	00	20	00
22年11月期	—	—	0	00	—	—	—	—	—	—
22年11月期（予想）	—	—	—	—	—	—	10	00	10	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無： 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想（平成21年12月1日～平成22年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,175	△20.6	△148	—	17	△79.7	15	—	6	88

（注）当四半期における業績予想の修正有無： 無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 ー 社 (社名) 除外 ー 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年11月期3Q	2,568,700株	21年11月期	2,568,700株
22年11月期3Q	282,134株	21年11月期	252,655株
22年11月期3Q	2,301,211株	21年11月期3Q	2,373,295株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国による需要の増加や景気対策効果等により、緩やかな回復基調をたどりましたが、急激な円高をはじめ、物価の下落傾向等、依然として先行きの不透明ななか推移いたしました。

当工作機械業界におきましては、内需の受注の伸びのほか、新興国をはじめとした外需の回復傾向が見られました。

このような経営環境の中において、当社グループ（当社及び連結子会社）は、顧客のニーズに応じた製品を提供すべく、製品開発と販売活動に注力するとともに、前連結会計年度に引き続き全社的なコスト削減の実施に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,141百万円（前年同期比49.4%減）、営業損失は236百万円（前年同期は142百万円の営業利益）、経常損失は189百万円（前年同期は217百万円の経常利益）、四半期純損失は192百万円（前年同期は93百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

貸借対照表の状況

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて753百万円減少し、2,326百万円となりました。これは主に、仕掛品が391百万円増加したものの、外国債券の取得等により現金及び預金が574百万円、売上債権が384百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて299百万円減少し、4,152百万円となりました。これは主に、投資有価証券が186百万円、有形固定資産が113百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて749百万円減少し、1,317百万円となりました。これは主に、前連結会計年度末に計上した投資有価証券の購入による未払金を支払ったこと等により未払金が688百万円、短期借入金が226百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、59百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べて304百万円減少し、5,102百万円となりました。これは主に、利益剰余金が239百万円、その他有価証券評価差額金が31百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回（平成22年1月14日発表「平成21年11月期 決算短信」に記載しております。）の業績予想から変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	316,523	891,091
受取手形及び売掛金	299,499	683,600
有価証券	312,547	340,032
半製品	237,222	269,224
仕掛品	839,673	448,121
原材料及び貯蔵品	195,696	227,549
その他	126,093	221,601
貸倒引当金	△334	△428
流動資産合計	2,326,921	3,080,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	850,307	900,138
機械装置及び運搬具(純額)	310,139	287,920
土地	445,591	447,026
建設仮勘定	72,286	154,577
その他(純額)	47,891	50,521
有形固定資産合計	1,726,215	1,840,185
無形固定資産	17,049	18,943
投資その他の資産		
投資有価証券	2,303,607	2,490,069
その他	106,225	103,562
貸倒引当金	△919	△943
投資その他の資産合計	2,408,913	2,592,689
固定資産合計	4,152,178	4,451,818
資産合計	6,479,099	7,532,610

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,820	31,182
短期借入金	873,500	1,100,000
未払法人税等	1,856	2,028
賞与引当金	14,634	—
製品保証引当金	4,000	10,000
圧縮未決算特別勘定	32,544	32,544
未払金	147,254	835,391
その他	137,915	55,490
流動負債合計	1,317,525	2,066,637
固定負債		
繰延税金負債	1,192	1,223
退職給付引当金	35,469	34,887
長期未払金	22,370	22,370
固定負債合計	59,031	58,480
負債合計	1,376,556	2,125,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,370	651,370
資本剰余金	586,750	586,750
利益剰余金	4,647,502	4,886,622
自己株式	△603,578	△572,010
株主資本合計	5,282,043	5,552,732
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,203	53,335
為替換算調整勘定	△201,704	△198,574
評価・換算差額等合計	△179,500	△145,239
純資産合計	5,102,542	5,407,492
負債純資産合計	6,479,099	7,532,610

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
売上高	2,254,283	1,141,003
売上原価	1,621,390	914,640
売上総利益	632,893	226,362
販売費及び一般管理費	490,038	463,341
営業利益又は営業損失(△)	142,855	△236,979
営業外収益		
受取利息	52,908	58,677
補助金収入	52,478	97,452
その他	24,186	15,055
営業外収益合計	129,573	171,186
営業外費用		
為替差損	22,420	77,691
投資有価証券評価損	23,770	43,625
その他	8,578	2,383
営業外費用合計	54,769	123,700
経常利益又は経常損失(△)	217,659	△189,493
特別利益		
固定資産売却益	960	4,071
その他	—	86
特別利益合計	960	4,157
特別損失		
固定資産除却損	—	632
投資有価証券評価損	79,061	—
その他	1,329	—
特別損失合計	80,391	632
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	138,229	△185,968
法人税、住民税及び事業税	1,238	842
過年度法人税等	△11,972	5,988
法人税等調整額	55,780	—
法人税等合計	45,046	6,831
四半期純利益又は四半期純損失(△)	93,182	△192,799

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年7月31日及び平成22年7月14日開催の取締役会において、会社法165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、大阪証券取引所JASDAQ市場（旧 ジャスダック証券取引所）における市場買付けの方法により自己株式を取得することを決議し普通株式29,400株、単元未満株の買取りにより普通株式79株をそれぞれ取得しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が31,568千円増加しております。